



オリーブ便り Olive News

2018.06.01

No.408

香川大学 医学部附属病院 香川県木田郡三木町池戸1750-1 発行人/病院長 横見瀬 裕保

「正面玄関出入口の変更について」

病院再開発推進室

病院再開発整備にともない、正面玄関出入口、総合受付、外来診療科受付等の場所が変更になります。工事期間中は、診療科の位置変更での混乱や、工事騒音等で大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



車両動線



歩行者動線

外来診療科等移転のお知らせ

6月4日(月)から次の場所が変わります。

栄養相談室、がん相談支援センター、患者相談室

6月11日(月)から次の場所が変わります。

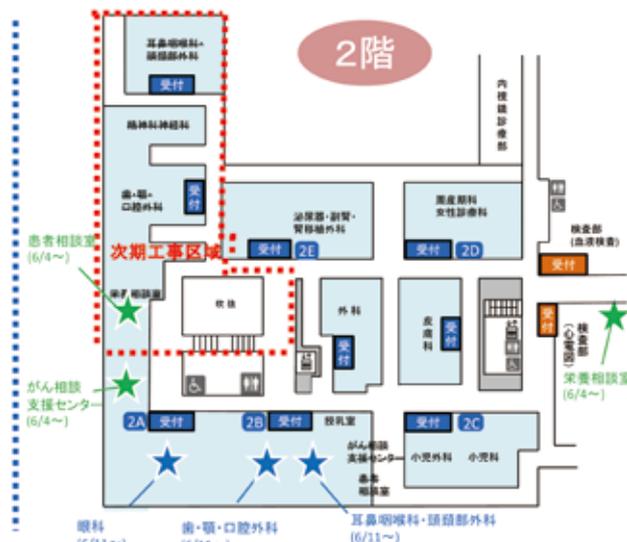
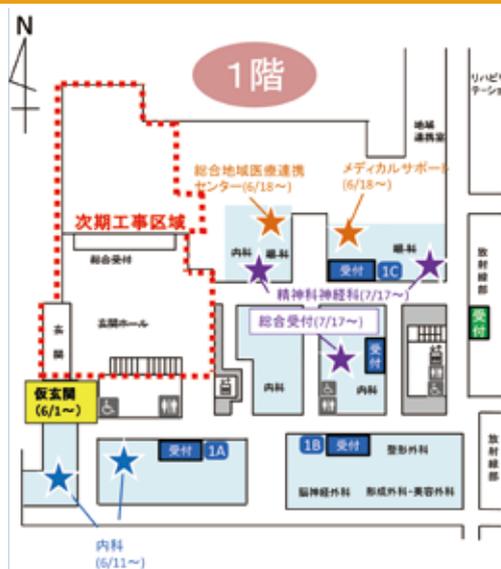
内科、眼科、耳鼻咽喉科、歯・顎・口腔外科

6月18日(月)から次の場所が変わります

地域連携室、メディカルサポートセンター

7月17日(火)から次の場所が変わります

精神科神経科、総合受付



近年、多くの芸能人が自身のがんを公表していますが、その報道の中に『ステージⅣ=末期』や『くちやのどのがんは声を失う』といった報道がみられます。その情報は本当でしょうか？

【のどのがんとは？】

図1のように、のどは咽頭(いんとう)、喉頭(こうとう)、気管、食道と分かれています。夫々の部位にがんはでき、酒・たばこはのどのがんのリスクを高めるといわれています。肺がんの原因の一つにたばこがあることが知られているので、たばこ=がんの印象がありますが酒に関してはがんの原因とは思われていないことが多いです。特にくちやのどのがんは飲酒・喫煙を両方していると発症リスクは200倍以上にもなるので、患者さんには禁煙・節酒を指導させて頂いています。

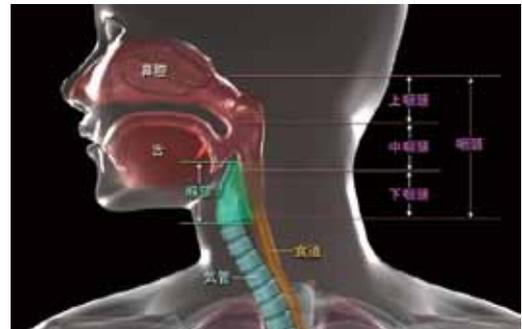


図1 のどの構造

【のどのがんの低侵襲治療とは？】

くちやのどのがんはくびのリンパ節に転移しやすく、がんの部位によってはリンパ節に2個転移ただけでステージⅣになります。しかし、ステージⅣだからといって末期ではありません。適切な治療を、適切な組み合わせで行うことが重要なのです。

【のどのがんの低侵襲治療】

くちやのどは声を出すことや食べることを行う重要な部位です。その部位を治療すると声やくちからの食事に支障が出ることもあり、「くちやのどのがんは声を失う」といった少々行き過ぎた情報となることがあります。だからこそこのどのがんの治療は低侵襲であることが求められるのです。以下にのどのがんの低侵襲治療の一部を紹介します。

のどのがんの特徴 ※がんの種類、治療法により異なります

癌種	がんになる原因
上咽頭がん	EBV、喉痛止めなどのがん全体のおおむね1割弱
中咽頭がん	HPV、飲酒・喫煙
口咽がん	HPV、飲酒・喫煙
喉頭がん	飲酒・喫煙
下咽頭がん	飲酒・喫煙

※EBV：EBウイルス

▶なぜ飲酒が喉がんのリスクになるのか？

1 強度変調放射線治療IMRT

通常の放射線治療は、放射線は一定方向へ進み、その線が作り出す形は一定の形でした。IMRTとは最新技術でこの線の強さ、方向を変えて線の作り出す形を変化させる治療法です。放射線があたる形を変化させることで重要な臓器を避けることが可能になり、副作用、合併症を軽減できるようになりました。



2 分子標的薬

近年になって創薬された新しい作用機序の抗がん剤です。くちやのどのがんに対する抗がん剤は種類も限られたものでしたが、分子標的薬の登場でより良い治療効果が見込めるようになってきました。分子標的薬はがん細胞だけを攻撃する夢のような薬、として紹介されることもありますが、特異な副反応を起こすこともあり、適切な対応ができないと大変なことになります。我々は分子標的薬を用いた治療も熟知しており、適応患者さんには積極的に使用しています。

3 経口的手術

数年前まではのどのがんの手術は頸部を外から切開して切除することが基本でした。しかし近年の医療機器の進歩や技術の向上により、口から特殊な器械を挿入し、内視鏡で観察しながらがんを切除することが可能になりました。非常に高度な技術を要する手技ですが、我々は中四国でもいち早くこの手技を取り入れ、適応のある患者さんに積極的に行っています。



まとめますと、のどのがんへの対処法は①禁煙・節酒をして頂き、②医療に対する正しい情報をもとにできるだけ早期に治療することと考えています。香川大学医学部附属病院には日本に350人ほどしかいないくちやのどのがんの専門医(頭頸部がん専門医)が3名在籍する、県内では唯一の専門施設です。くちの中やのどで何かおかしいな、と感じたらお近くの耳鼻咽喉科を受診することをお勧めします。

※第20回イキイキさぬき健康塾(平成28年12月11日開催)の講演内容を要約したものです。

四国新聞社の記事転載について、ホームページでの公開には
許諾されていないため、転載記事を除きました。

四国新聞 2017年(平成29年)10月14日(土)掲載 (四国新聞に掲載について許諾済み)

 イキイキさぬき健康塾
香川大学医学部附属病院 医療セミナー

高松市内で定期的に行っている医療セミナー「イキイキさぬき健康塾」がケーブルメディア四国のコミュニティチャンネルで放送中です。実際にセミナーにご参加いただいた方の振り返りに、セミナー当日に参加できなかった方に、医療セミナーに興味のある方に、皆様ぜひご覧ください。

2018年2月10日(土)、11日(日)に琴平町において第30回日本老年麻酔学会を開催しました。「超高齢社会における麻酔科医の役割」というテーマのもと、それぞれ2つのシンポジウム、特別講演、共催セミナーを開催しました。シンポジウム1つめは、「超高齢社会における高齢麻酔科医の役割」として、小栗頭二先生をはじめ3名の先生方にご経験と若手への激励の言葉をいただきました。2つめは、「超高齢社会における麻酔科医の役割と多職種連携」として、4施設からそれぞれの取り組みについてご講演いただきました。特別講演1つめは、東京大学秋下雅弘先生から高齢者と多剤併用について、2つめは国立長寿研究センター荒井秀典先生から高齢者のサルコペニアやフレイルについて、ご講演をいただきました。一般演題も50題と過去最多のご応募をいただき、各セッションでは熱心な討議がありました。学術集会終了後には、サテライトセミナー「さぬき超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー」、「専門医共通講習」を開催しました。

寒波到来により非常に寒い2日間でしたが、218名と過去最多のご参加をいただきました。主会場は国の登録有形文化財である琴平町公会堂で、会場も非常に“cool”な中、参加者の皆さまには大変“cool”な議論をしていただきました。

教室員の手作りで行き届きの点も多数ありましたが、参加者のみなさまには温かいお言葉を頂戴し、教室員一同お礼を申し上げます。なお、本学会の開催にあたり、多数の施設、企業の皆さまからご協賛いただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。



臨床研究に関するご案内

医学部倫理委員会委員長
医薬品等臨床研究審査委員会委員長

香川大学医学部附属病院では、診療に伴って取得した患者さんの貴重な個人情報を含む記録や尿・血液等の検査試料、生検組織(内視鏡検査で検査のために採取した組織等)又は摘出組織等の試料が発生します。

それら記録試料等を本院は、医療機関としてだけでなく、教育研究機関として所定の目的に利用させていただきたいと思っておりますので、患者さんのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

前向き研究(研究を立案、開始してから新たに生じる事象について調査する研究)に患者さんの情報を利用する場合は、書面により患者さんの同意をいただくことといたします。後向き研究(過去の事象について調査する研究)の場合は下記URLに示しております。

利用目的の中に同意しがたいものがある場合は、1階外来ロビー内個人情報相談窓口または各診療科までお申し出ください。特段のお申し出がない場合は、上記の利用目的のために患者さんの個人情報を利用することに対して同意が得られたものとさせていただきます。

臨床研究に関するご案内URL <http://www.med.kagawa-u.ac.jp/hosp/about/rinsyo/>

イベントカレンダー H30.6~7月 予定表

月日	時間	場所	名称及び内容	担当	連絡先
6/10 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「おしっこが近い、漏れる、出にくい -ズパツと解決-」	総務課	(087)891-2008
6/14 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師がお話をします。	臨床栄養部	(087)891-2066
6/28 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と検査技師がお話をします。	臨床栄養部	(087)891-2066
7/8 日	11:00~12:00	丸亀町レッツホール	イキイキさぬき健康塾-香川大学病院と最新医療- 「安全で安心な歯科インプラント治療を受けるために」	総務課	(087)891-2008
7/12 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と医師がお話をします。	臨床栄養部	(087)891-2066
7/26 木	14:00~15:10	西1階カンファレンスルーム	【糖尿病教室】 管理栄養士と歯科衛生士がお話をします。	臨床栄養部	(087)891-2066
7/29 日	13:30~17:00	三木町防災センター 3F大ホール	平成30年度日本肝臓学会 肝がん撲滅運動 市民講座	消化器・神経内科	(087)891-2156

編集委員会 (50音順)

荒井(検査)、小野(総務)、日下(副病院長)、笹川(放射線)、田川(管理)、田中(看護)、濱本(外来)、藤原(病棟)、芳地(薬剤)、横井(情報)、横山(経営)、吉野(医事) [委員長 横見瀬病院長]